

第28回 多賀の農業・農山村を考えるつどい

# 小さなまちだからできる オール多賀で農業を

平成29年2月19日



株式会社 農楽 (NOUGAKU)

代表 西村俊昭

# Nishimura Toshiaki Biography

>>1965 大阪市北区中津に生まれる

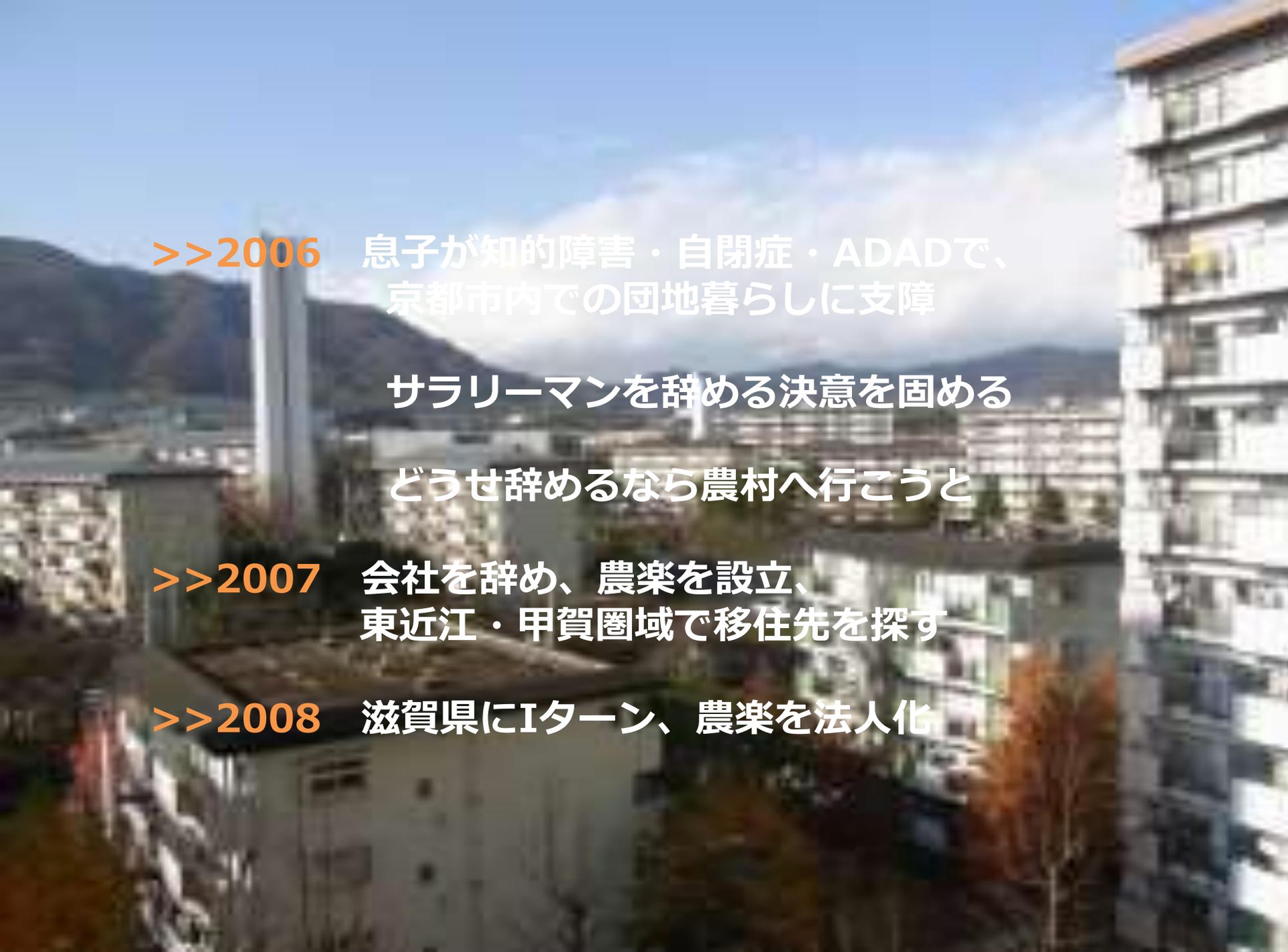
>>1988 愛媛大学農学部農業工学科卒

>>1989 建設コンサルタント入社  
農村計画をベースに  
農業農村整備事業計画、営農計画、都市計画  
環境計画、地域活性化計画、合意形成  
自然エネルギーの計画

など

# 大手コンサルタントに務めていた時の思い

- 地域のことを理解するまで時間がかかる  
十分に理解せずに計画づくりってことも
- 間接経費が高く、儲け・儲けと言われ、もっと丁寧な仕事  
がしたい
- 業務の終了が、地域との縁の切れ目
- 地域でのワークショップでは「農的な暮らしが大切、  
コミュニティ・地域活動が大切だ」と言っているが、  
自分は農業もしたことがなく、仕事で地域活動もできず、  
家族と時間も取れず
- 計画をつくりぱなし、実現までフォローしたい
- 地域の人のために汗をかきたい
- 農村地域に住まないと、わからないところもあるのでは  
など



>>2006 息子が知的障害・自閉症・ADADで、  
京都市内での団地暮らしに支障

サラリーマンを辞める決意を固める

どうせ辞めるなら農村へ行こうと

>>2007 会社を辞め、農楽を設立、  
東近江・甲賀圏域で移住先を探す

>>2008 滋賀県にIターン、農楽を法人化

株式会社  
資格

株式会社農楽 代表取締役  
技術士（農業環境）、観光プランナー、  
バイオマス利活用アドバイザー

NPO法人

バイオマス利活用推進会議 理事  
甲賀のんべえ倶楽部 理事  
国土再編研究所 監事  
AJA 監事（障がい者就労支援の作業所）  
愛のまちエコ倶楽部 会員

任意団体

TEAM CHAKKA 代表  
（中間的就労のためのしごとづく  
ひがしおうみ市民共同発電所2号機組合 副代表  
撤退の農村計画 会員  
拡大ふくしモール メンバー  
甲賀市大原自治振興会 まちづくりPJ 副リーダ  
わかものPJ メンバー

# 地域コンサルタントとして

## ■むらづくりのプランニング

- ・住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業（住民ニーズの高い「食」「エネルギー」「ケア」を核とした低炭素田園都市形成計画：滋賀県蒲生地区まちづくり計画）（2013～2014）
- ・「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン（東近江市モデル地域創生プラン）（2015）
- ・多賀町人口ビジョン、地方創生総合戦略(2015)
- ・多賀町総合計画（後期基本計画）(2015)
- ・多賀（大滝）里づくりプロジェクト(2016)
- ・東近江市湖東地区まちづくり計画策定支援（2016）
- ・東近江市環境基本計画策定支援（2016）

## ■食（アグリビジネス）

- ・滋賀県東近江市緑の分権改革推進事業 フードシステム構築(2011～2013)
- ・大津市における戦略作物等の生産振興方針策定業務(2013)
- ・彦根梨・ホワイトアスパラの6次産業化基礎調査（2015）
- ・「農」を活用した医療・福祉との連携 滋賀県東近江市あいとうふくしモール（2015～2016）
- ・ひこねホワイトアスパラプロジェクト(2016～)

## ■食（農業農村の6次産業化）

- ・滋賀県東近江ハンドシェーク協議会ふるさとづくり計画（2008）
- ・三重県伊賀市ふるさとづくり計画（2008）
- ・**滋賀県東近江ハンドシェーク協議会ふるさとづくり実践活動（2009～2012）**
- ・伊賀市上高尾ふるさとづくり実践活動（2009～2012）
- ・東近江市奥永源寺地区着地型観光可能性調査(2012)
- ・東近江市着地型観光可能性調査(2013)
- ・滋賀県愛東地区 愛のまち星つむぎプロジェクト（2013～2014）
- ・滋賀県東近江市がもう夢工房協議会 都市農村共生対流活動支援（2015～2016）
- ・三重県伊賀市上高尾地域づくり協議会都市農村共生対流活動支援（2015～2016）
- ・東近江市エコツーリズム推進協議会支援(2016)

## ■自然エネルギー

- ・バイオマスタウン構想 滋賀県湖北町、兵庫県神河町、岡山高梁市(2009)
- ・奈良県 資源循環プロジェクト（2009）
- ・滋賀県東近江市 緑の分権改革事業推進事業（薪PJ、B5PJ、バイオ燃料用米PJ）（2010）
- ・京都府京丹後市 地域バイオマス利活用高度化調査(生ゴミ分別収集及びメタン発酵液肥利用検討調査分析)（2010～2011）
- ・滋賀県東近江市 薪の需要量・森林管理の意向調査(2011)
- ・滋賀県東近江市 持続可能な薪炭林の再生の東近江モデル構築プロジェクト(2012)
- ・滋賀県湖東の森づくり支援事業（2013）
- ・福知山市バイオマス産業都市構想（2014）

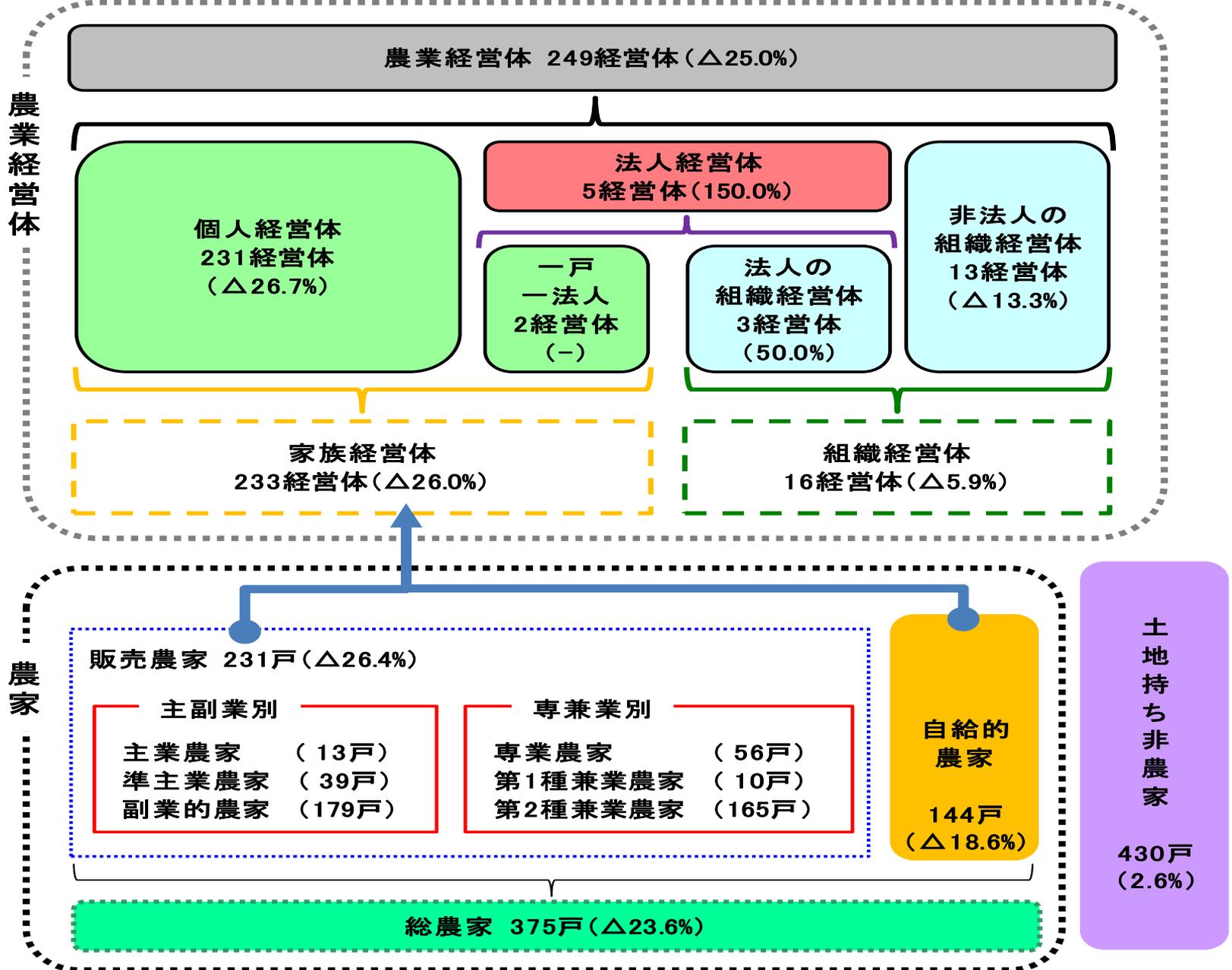
## ■ケア

- ・滋賀県蒲生地区拠り所創造事業（2015）
- ・東近江市、ひと・もの・お金が循環する仕事をつくり、引きこもり等の若者の働きたいの応援プロジェクト（2015-2016）

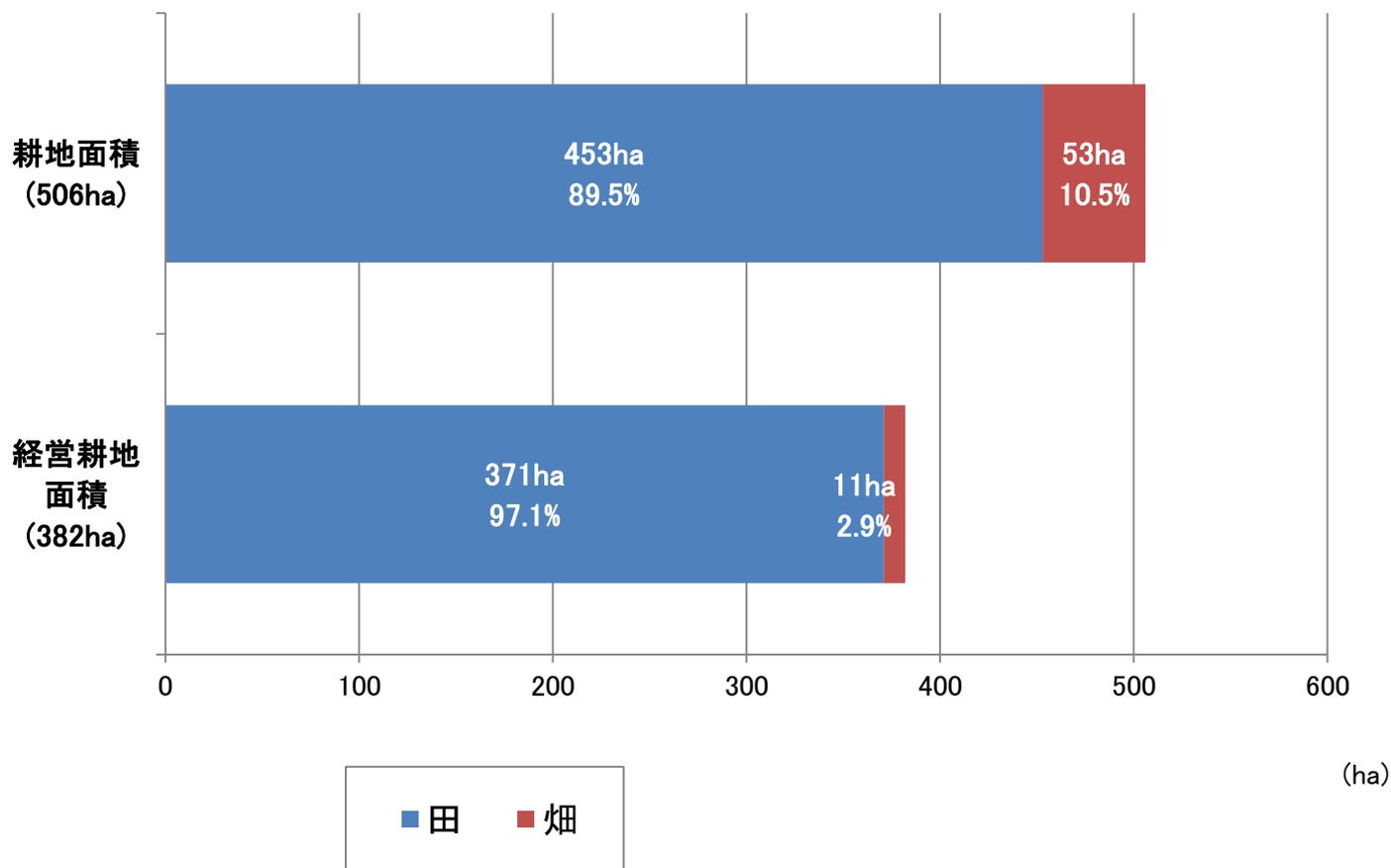
# 1. 多賀の農業の現状を見つめ直す



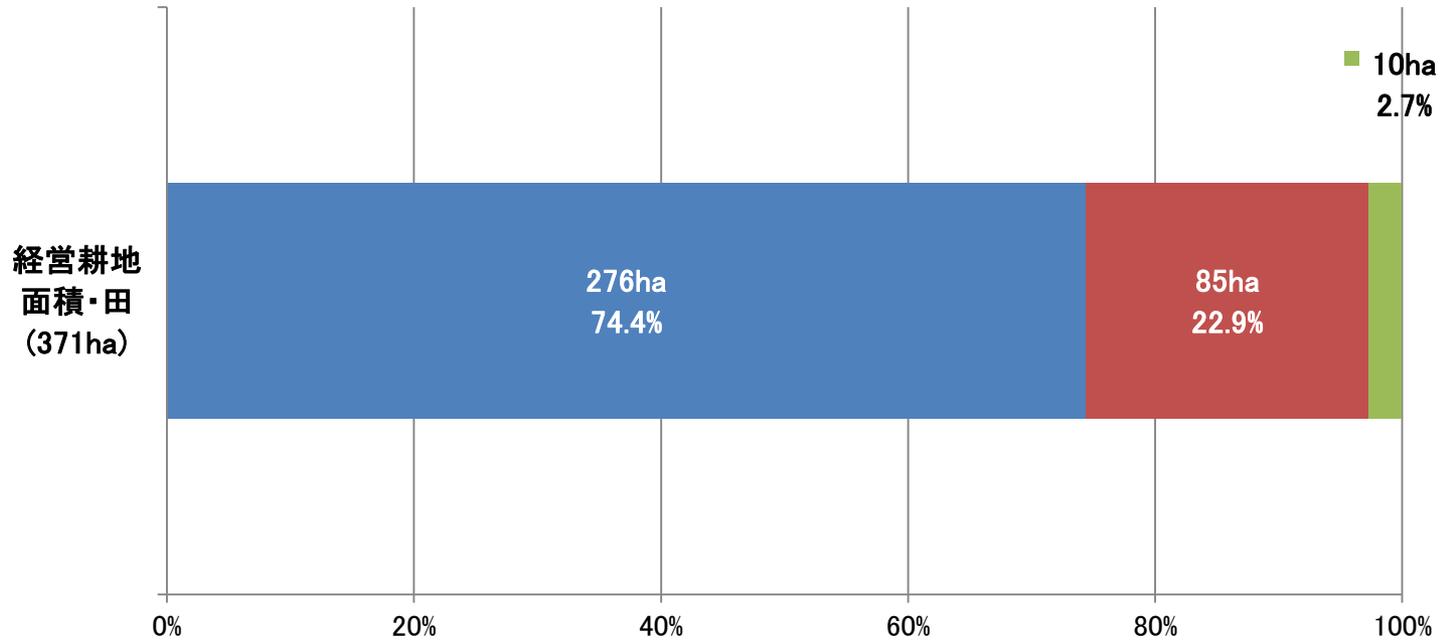
# 農業経営体と農家 2015年農業センサス



# 耕地面積と経営耕地面積



# 耕地面積（田）の作付状況



■ 水稻

■ 水稻以外

■ 不作

# 担い手

	認定農業者		特定農業団体	営農組織	生産意欲農家	計
	個別経営	農事組合法人				
組織数	17	4	5	5	10	41
面積(ha)	130.3	38.8	45.2	0	34.9	249.2
ha/組織	7.7	9.7	9.0	0.0	3.5	6.1

H28.3

# 農産物の生産

	作付面積(ha)		収穫量(t)	
水稲	284	0.9%	1,430	0.9%
小麦	90	1.3%	233	1.3%
大豆	17	0.3%	24	0.2%
そば	81	20.4%	43	19.7%
野菜				

うち環境こだわり農産物

作付面積(ha)	
120	42.3%
79	97.5%
5.2	

注1: 作物統計調査による平成27年産の値。

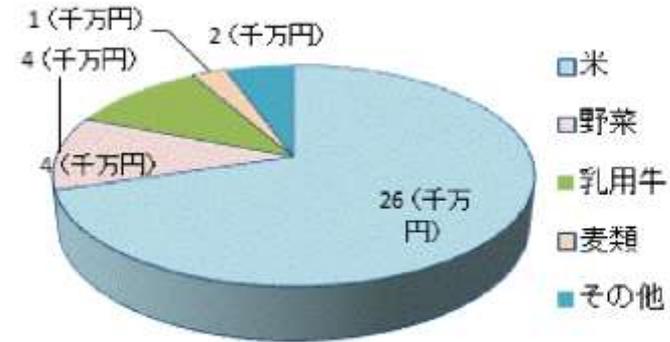
注2: 作付面積は、は種又は植え付けしてからおおむね1年以内に収穫された面積。

注3: %は都道府県内でのシェア。

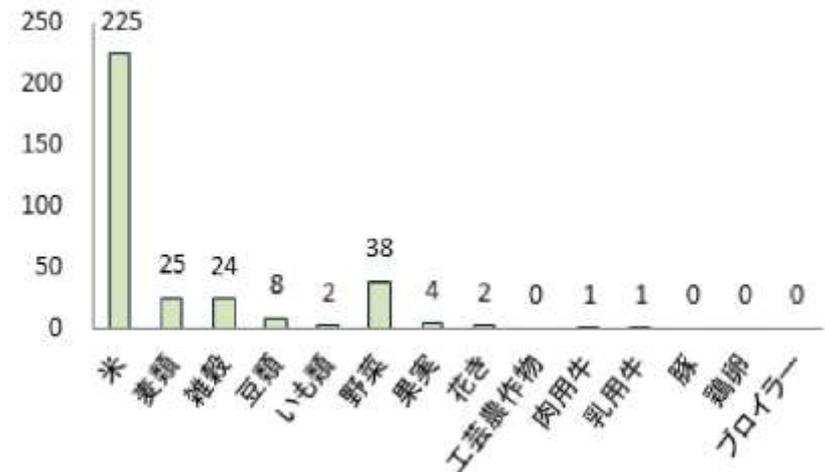
# 農業部門別の産出額・農業経営体数

	農業産出額	農業経営体数
合計	37 千万円	249 経営体
耕種計	33 千万円	
米	26 千万円	225 経営体
麦類	1 千万円	25 経営体
雑穀	1 千万円	24 経営体
豆類	0 千万円	8 経営体
いも類	0 千万円	2 経営体
野菜	4 千万円	38 経営体
果実	0 千万円	4 経営体
花き	X	2 経営体
畜産計	4 千万円	
肉用牛	0 千万円	1 経営体
乳用牛	4 千万円	1 経営体

農業産出額の内訳



農業経営体数



注1: 農業産出額についてはH26年値、農業経営体数についてはH27年値。

注2: 農業経営体数の合計は実数のため内訳と一致しない。

# 販売を目的とした農産物の作付面積と経営体

作物	経営体数	作付面積・頭羽数
水稲	225 経営体	249 ha
小麦	23 経営体	69 ha
大麦・裸麦	2 経営体	X
そば	22 経営体	60 ha
その他雑穀	3 経営体	1 ha
ばれいしょ	2 経営体	X
大豆	8 経営体	8 ha
だいこん	11 経営体	X
にんじん	17 経営体	4 ha
さといも	3 経営体	0 ha
やまのいも	2 経営体	X
はくさい	13 経営体	0 ha
キャベツ	9 経営体	X
ほうれんそう	5 経営体	X
レタス	3 経営体	X

作物	経営体数	作付面積・頭羽数
ねぎ	5 経営体	X
たまねぎ	5 経営体	X
ブロッコリー	5 経営体	1 ha
きゅうり	3 経営体	X
なす	12 経営体	0 ha
トマト	7 経営体	X
ピーマン	3 経営体	X
いちご	1 経営体	X
メロン	2 経営体	X
すいか	4 経営体	0 ha
その他の野菜	8 経営体	X

「0」: 単位に満たないもの

「x」: 秘密保護上統計数値を公表しないもの。

# 販売を目的とした農産物の作付面積と経営体

作物	経営体数	作付面積・頭羽数
その他のかんきつ	1 経営体	X
ぶどう	1 経営体	X
うめ	3 経営体	0 ha
かき	2 経営体	X
くり	1 経営体	X
その他の果樹	1 経営体	X
その他の作物	2 経営体	X
乳用牛	1 経営体	X
肉用牛	1 経営体	X

注1: 2015年農林業センサスによる平成27年2月1日前1年間の値。

注2: 作付(栽培)面積については、販売を目的として作付け(栽培)された面積。

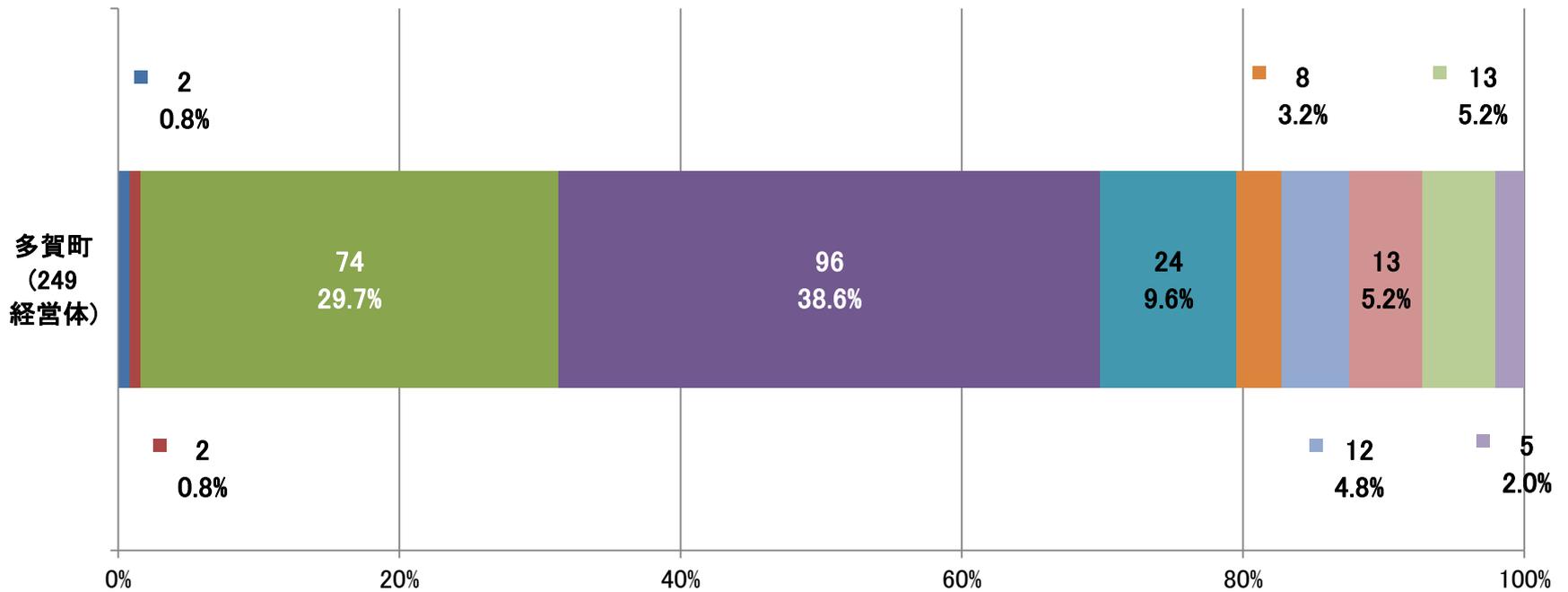
注3: 農家の自己申告による。

# 水田作農家の規模別概況

耕作面積(ha)	水稻作付率	作業時間(h)	主たる人の 平均年齢(歳)	(千円)					農業依存度	1時間当り 生産性(円)
				総所得	農業所得	内共済・補助金等	農外所得	年金等収入		
0.5ha未満	97.4	441	66.7	3,833	△ 78	44	1,759	2,152	-	△ 156
0.5~1.0	95.3	642	65.7	4,189	71	114	1,804	2,314	3.8	150
1.0~2.0	92.8	958	64.6	4,799	572	310	1,944	2,282	22.7	656
2.0~3.0	90.6	1,411	62.3	5,235	1,045	555	2,314	1,879	31.1	829
3.0~5.0	89.6	1,779	61.4	5,776	2,509	975	2,065	1,182	54.6	1,616
5.0~7.0	85.7	2,437	58.3	6,598	3,742	1,635	1,547	1,233	69.7	1,901
7.0~10.0	72.8	3,146	58.7	7,300	5,339	2,938	1,022	924	83.7	2,090
10.0~15.0	59.7	3,765	55.7	8,861	6,968	5,096	989	904	87.6	2,257
15.0~20.0	71.7	2,716	52.6	11,484	9,619	6,466	1,198	676	89.0	2,950
20.0ha以上	51.4	4,556	53.3	16,453	14,467	13,826	1,457	547	91.0	3,963

平成24年営農類型別経営統計(年次 2012年)より

# 経営耕地面積規模別経営体数



■ 経営耕地なし

■ 0.3ha未満

■ 0.3 ~ 0.5

■ 0.5 ~ 1.0

■ 1.0 ~ 1.5

■ 1.5 ~ 2.0

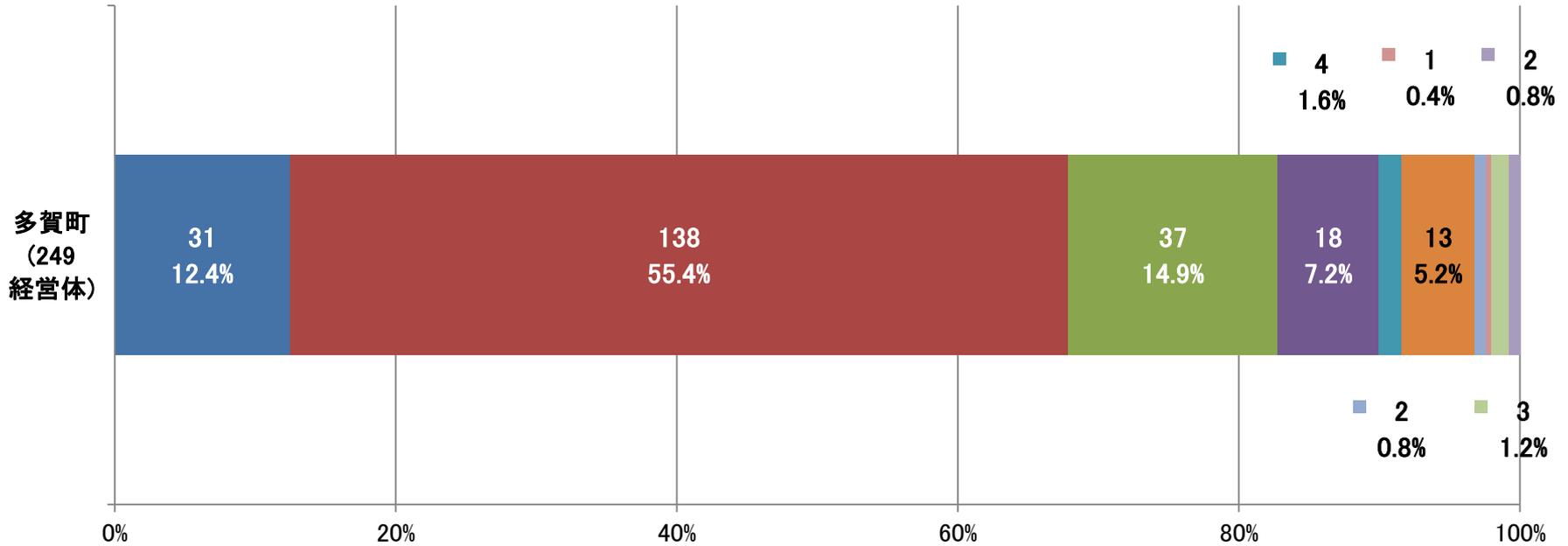
■ 2.0 ~ 3.0

■ 3.0 ~ 5.0

■ 5.0 ~ 10.0

■ 10.0 ~ 20.0

# 農畜産物販売額別経営体数



■ 販売なし

■ 50万円未満

■ 50 ~ 100

■ 100 ~ 200

■ 200 ~ 300

■ 300 ~ 500

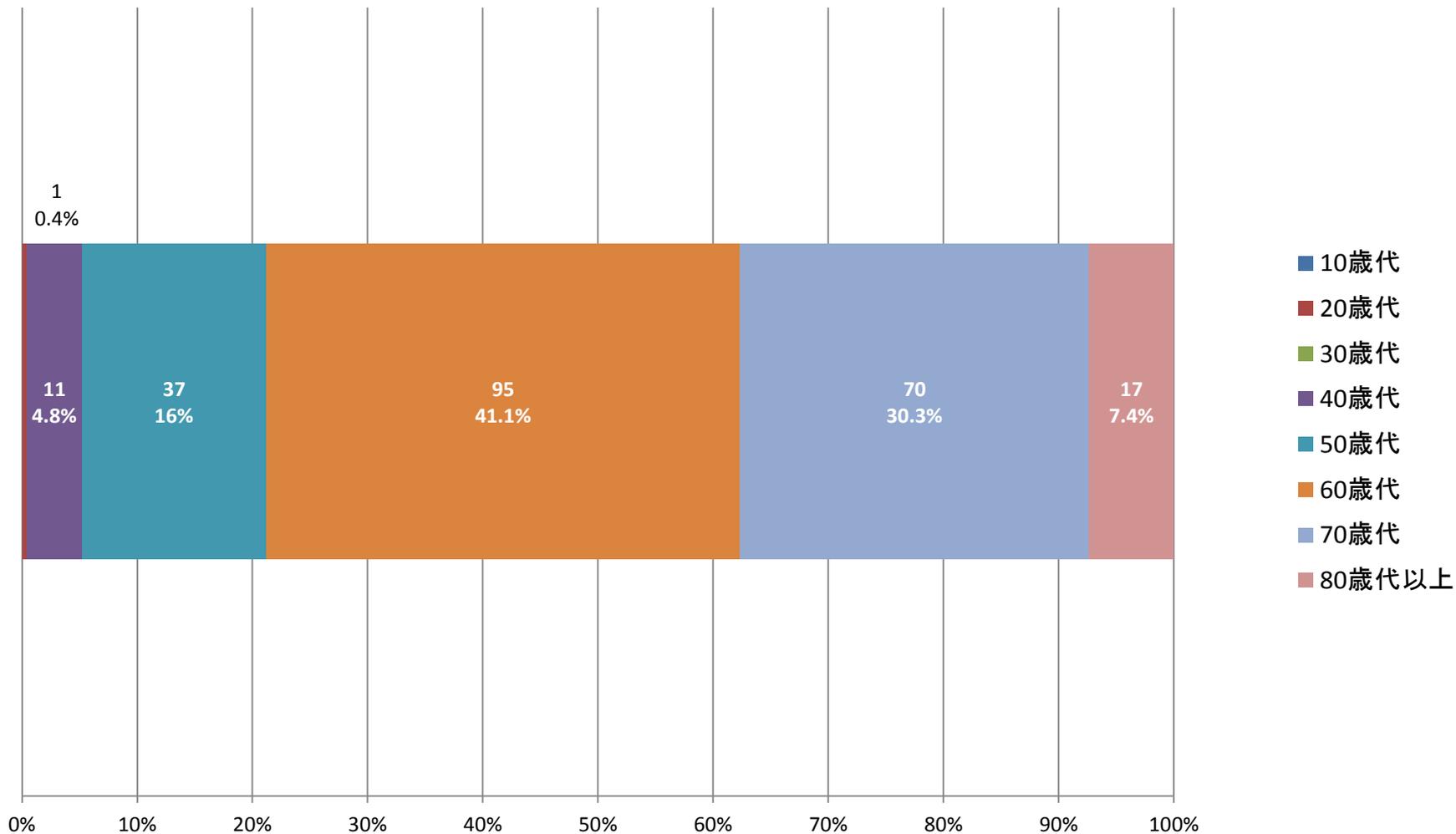
■ 500 ~ 700

■ 700 ~ 1,000

■ 1,000 ~ 1,500

■ 1,500 ~

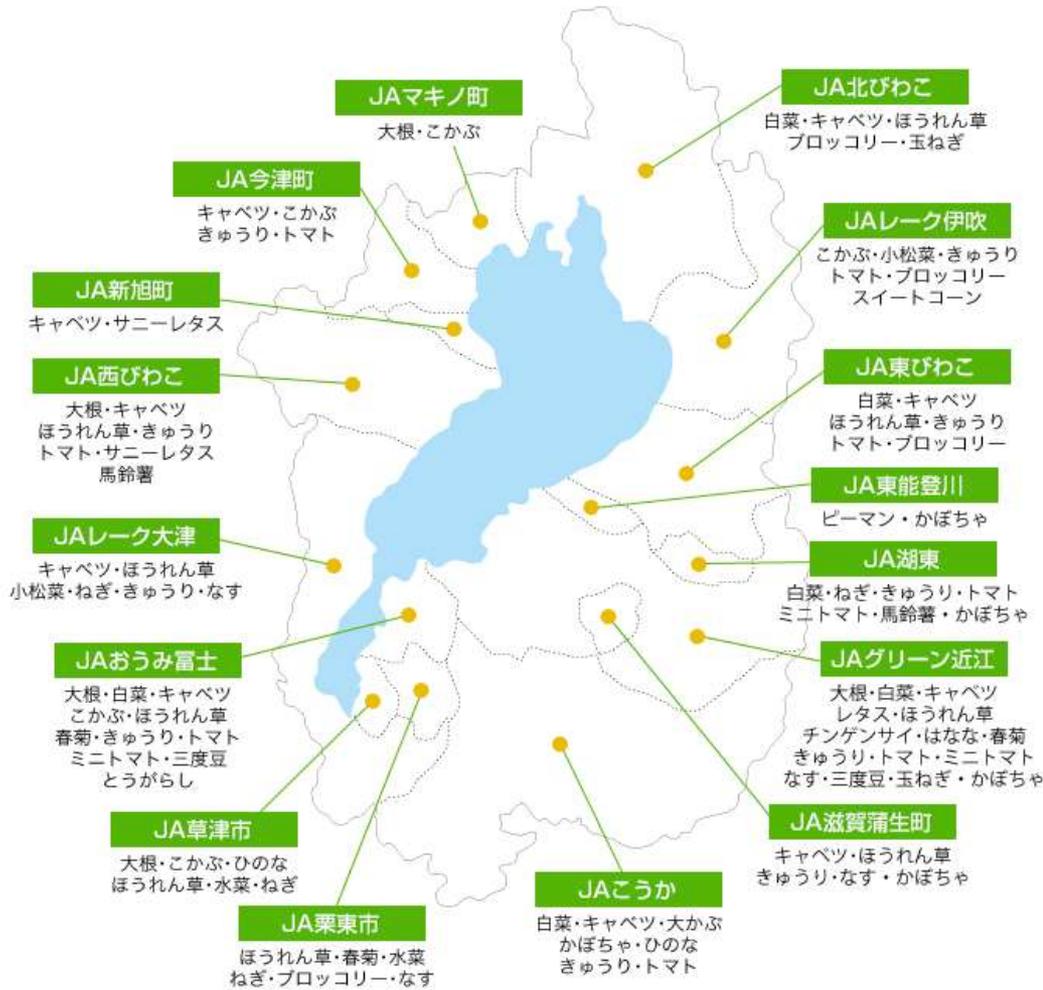
# 年齢別経営農業経営者数（販売農家231）



# 販売農家農業後継者数

							単位：戸
計	同居農業後継者がいる			同居農業後継者がいない			
	小計	男の同居 農業後継者	女の同居 農業後継者	小計	他出農業 後継者が いる	他出農業 後継者が いない	
231	47	45	2	184	43	141	

# JA東びわこ



彦根市  
多賀町  
甲良町  
豊郷町  
愛荘町

# 多賀の農業の現状

- 米＋小麦・大豆・そば
  - 若干の野菜、畜産
  - 特産品：多賀にんじん、ブロッコリー
  - 経営者の減少、高齢化
  - 担い手不足
  - 販売額500万円以上経営体は  
わすか8経営体
- 
- 環境こだわり農産物の推進（米、そば、野菜）
  - 特産品振興連絡協議会を設立（2016.7.2）  
「米、そば、にんじん」など多賀町の特産物の高付加 価値化・ブランド化
  - 米・食味分析鑑定コンクールに挑戦
  - 桃原ごぼうの復活

## 2. 未来の多賀の農業を考える際のヒント

(小さなまち、JA、組織の取組から学ぶ)

**組織**：新しい地域の司令塔、地域ビジネス

**米**：ブランド米、業務用米、規格外米の加工

**野菜**：ブランド化

業務用加工野菜、水田土壌と野菜、  
機能野菜、企業連携、B級品の加工

**支援者**：買い支え、多様な担い手、  
企業連携、週末農業塾

**観光**：学ぶ・安らぐ・食べる

# 組織

# 新しい農業の司令塔

曾爾村農林業公社の初代会であいさつする芝田村長＝6日、曾爾村今井の村振興センター



村では少子高齢化、過疎化による後継者不足と価格の低迷などにより、基幹産業の農業や林業が衰退。農地が荒廃して里山の風景が崩れることで、年間約50万人が訪れる観光力の低下も懸念されている。

そこで農林業の振興と地域の活性化に取り組むため、6月24日に村農林業公社を設立した。構成団体は村と県農業協同組合（JAならけん）、村森林組合、

曾爾村「農林業公社」設立

## 村の発展に決意新た

### 初代会 農林業を活性化

曾爾村は、地方創生戦略の一つとして農林業を活性化させようと、「村農林業公社」を設立した。今月6日には同村今井の村振興センターで初代会が開かれ、関係者約50人が出席して村の発展に向けて決意を新たにしました。

## 作物ブランド化 耕作放棄地活用

村振興公社、村農業委員会が主体。賛助会員として、JAならけん曾爾支店、トマト部会や同法蓮草部会、曾爾米ブランド化協議会などの地域農業団体、「太郎路名水研究会」

や「深めるべ会」といった地域おこし団体、各地の生産森林組合、金融機関も参加する。

同公社は主要作物の米やトマト、ホウレンソウなどのブランド化と販路開拓を目指す。併せて、遊休農地での新産地形成や農林業の担い手の育成、耕作放棄地の一括借り受けに



# 地域ビジネス

個人起業や社会起業家（ソーシャル・イノベーター）  
個人起業の集積（ローカルベンチャー）  
条件不利地における地域おこし協力隊の起業・定住



地域住民グループによる  
地域力維持を図るための起業、  
地域内資金循環、地産外商の使命を担う起業

地域内資金循環は  
**地域内工程分業の意識**が大切

# 農業の地域内工程分業

種子、農業資材の購入

育苗、定植

栽培管理

収穫、出荷調整

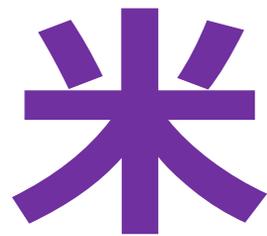
加工

営業販路確保

遊休農地の営農

担い手の育成

など



ブランド米

# 米屋が販路限定という戦略で市場を拡大



その違いを探るべく、達也が訪ねたのは、奈良県大和郡山市のお米屋さん、日本中の米好きが買いに訪れる米穀店・イリグチ。店主の入口寿子さんは、米の美味しさを判定する米食味鑑定士。都内有名デパートでは、入口さんが鑑定し、美味しいとお墨付きをもらった米は、一般的には、5kg3000円ほどが、鑑定米として倍以上の8100円にも！！



「米・食味分析鑑定コンクール:国際大会」には“ダイヤモンド褒章”と呼ばれる賞があります。これは5回以上の入賞と総合部門で3年連続の金賞に輝き、またJASおよび無農薬・無化学肥料栽培の水田を有する生産者に授与される栄誉ある賞です。第6回コンクール(平成16年)から3年連続、総合部門にて金賞を獲得。偉業を成し遂げ、平成19年に“ダイヤモンド褒章”を授与されたのが、遠藤五一さん。山形県で代々土地を受け継ぐ農家の12代目当主です。遠藤さんが作るお米は美味しさだけでなく、環境保全への“熱い思い”が込められているのです。

## 米・食味分析鑑定コンクール:国際大会における主な受領歴

- 第6回(平成16年)総合部門 金賞 コシヒカリ
- 第7回(平成17年)品種部門 有機栽培部門 特別優秀賞 コシヒカリ
- 第7回(平成17年)総合部門 金賞 コシヒカリ
- 第8回(平成18年)総合部門 金賞 コシヒカリ
- 第9回(平成19年)ダイヤモンド褒章
- (以後継続)
- 第12回 環境農業大

※第5回(平成15年)には、上和田有機米生産組合として参加、品種部門で金賞を得ている

# 28年度産米

日本一美味しいと称される米  
山形県高畠町・遠藤五一さんの

**特別栽培米 つや姫**  
**白米 2kg**



**送料  
無料**



平成28年度産 山形県高畠町・遠藤五一さんの「特別栽培米つや姫」 白米2kg

JANコード/ISBNコード：4580478976268

[2件の商品レビュー](#)

白米2kg

※28年度産米(10月下旬頃から発送予定)

※特別栽培米(農薬7割減)

※常温配送

※原産地：山形県高畠町

**価格 3,680円 (税込)**

実質680円で購入のチャンス!

全国一律 送料無料

※条件により送料が異なる場合があります

[手数料・送料・配送方法について](#)

# 地域一体となった米づくり (高知県本山町 本山農業公社)

祝 お米コンテスト2016  
最高金賞受賞！  
通算2度目の栄冠です！



# 寒暖差の大きさと新鮮な山の水



お米にとって大切な環境、昼と夜の気温の大きさです。

標高が高いこの地域の棚田の寒暖差は10度以上も変わります。

夏は平野部より暑くなる事もあり、冬は一面雪で覆われる。そんな気温の大きさなのです。

**森林面積が90%、その木々から流れ湧き出る新鮮な水は棚田を満たすのです。**

冷たい水は代掻きをしている田んぼをも透き通るような綺麗さなのです。

# 土壌管理とエコファーマー



先人達が切り開いた田んぼは長い年月の間、自然の肥やしである刈り草やたい肥などが、入れられ、より良い土壌となっています。1つ1つ田んぼは毎年検査が行われます。また生産者全員がエコファーマーを取得し化学肥料、農薬を控えた栽培を徹底しています。天空の郷のほ場認定の田んぼにはこのように認定書が田んぼに立てられるのです。

# 室戸海洋深層水のうまみ



これ決して農薬散布してるのじゃないですよ。

**室戸海洋深層水を田んぼにかけているんです。**

お米に塩分なんて良くないじゃないですか！？

いいえ、そんな事ないんです。お米のおいしさはカリウムに対して、マグネシウムの含有量がどれだけで決まります。

室戸海洋深層水から生まれる濃縮ミネラル、つまり、にがりを散布する事で、マグネシウムの含有量が増え、甘みと旨みの豊かな米を作り出しているのです。

# 厳しい基準で食味検定

稲刈りを終えたお米は全て本山ライスセンターに集まります。

ここで生産者ごと、水田ごとに審査を受けるんです。

食味分析器で基準値以上の評価を得れば合格。

また大粒のみのお米を選別するため、一般に流通している網目のふるいより大きなふるいにかけてくれるんです。

実際に現場で選別されたお米を見せていただきましたが、本当にびっくりです！

生産者、本山公社の方は言います。

「日本一のお米を作るにはこれくらい徹底、こだわりをしないとイケませんから。」

私が色々な地域で米作りをしている現場を見ましたが、

ここまでやるか！と感じたのは初めての生産地区でした。



# 販売



特別栽培米 土佐天空の郷 3合×3缶セット (精米)  
(011)  
¥2,000(税込)



薩開舟 神社エール 300ml  
(010)  
¥1,200(税込)



特別栽培米「土佐 天空の郷」  
ヒノヒカリ精米 2kg (001)  
¥1,600(税込)



特別栽培米「土佐 天空の郷」  
ヒノヒカリ精米 5kg (002)  
¥3,800(税込)



特別栽培米「土佐 天空の郷」  
にこまる精米 2kg (003)  
¥1,600(税込)



特別栽培米「土佐 天空の郷」  
にこまる精米 5kg (004)  
¥3,800(税込)



土佐ジローの卵 25個入り  
(005)  
¥1,750(税込)



特別栽培米「土佐天空の郷」  
ヒノヒカリ玄米 5kg (007)  
¥3,700(税込)



特別栽培米「土佐天空の郷」  
にこまる玄米 5kg (008)  
¥3,700(税込)

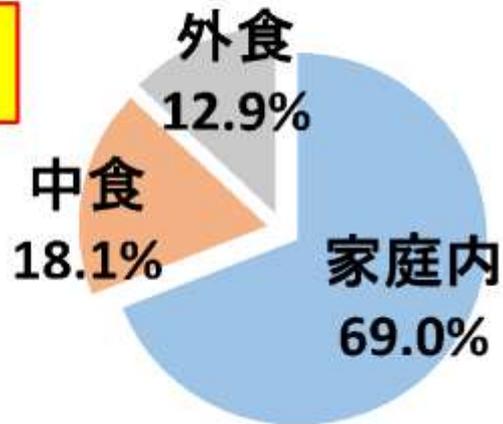
# 業務用米

# 業務用米のシェア

## ■ 主食用米の消費内訳等（平成27年度）

### 業務用米のシェア

31%



中食・外食事業者が求める業務用米の品質（流通業者への聞き取り）

（例）

おにぎり・・・形が崩れにくいもの  
寿司・・・酢が入りやすいもの  
丼物・・・粘りが少ないもの

資料：米の消費動向調査（(公社)米穀安定供給確保支援機構調べ）



# 規格外の米の加工

ばうむ(合) 米焼酎 土佐天空の郷 1800ml 25度



### 日本一の米で造る米焼酎！

「米焼酎 土佐天空の郷 1800ml」は  
高知県本山町で栽培される品種  
「土佐 天空の郷(てんくうのさと)」を用い  
地元有志で設立した「ばうむ(合)」が醸す  
希少な本格米焼酎。

「土佐 天空の郷」は2010年のお米コンテストで  
コシヒカリ以外では初の快挙となる  
「日本一」に輝いた、幻のお米。

粒揃い良く、飲けばふっくらツヤツヤ♪  
程よい粘りとモチモチした食感から  
豊潤に広がる甘味が特徴の「天空の郷」。

そんなお米と米麹で醸し出した  
希少な本格米焼酎は、原材料の少なさから  
毎月生産出来る本数もごく僅か！

初出荷品を試飲した感想は  
ロック・水割りで頂くより  
お湯割りが、そのスペックを  
一番に味わえるでしょう♪

当店への入荷本数も  
割当て制限となっておりますので  
売切れの際はご容赦ください。

■1.8Lサイズは下記の別途箱代が必要となります。  
1本→180円  
2本→270円  
3本→360円  
4～6本→無料です。

ご注文確認後に、箱代を加算したご案内のメールでご連絡  
させていただきますのでご了承下さい。



原料米:土佐天空の郷(にこまる)／原材料:米・  
米麹／アルコール度数:25度／おすすめ温度:  
好きな飲み方で／

※720mlサイズは下記URLへ

<http://www.konijiru.com/shochu/other/contents000174.htm>

品番 664

品名 ばうむ(合) 米焼酎 土佐天空の郷  
1800ml 25度

入数 1800ml 1本

価格 ¥2,700(税込)

数量



野菜

**ブランド化**

# 加賀野菜

1. 「地域が育てた野菜」を守るためにブランド化
2. ブランド力は品質管理と知名度アップで
3. よみがえった加賀野菜を次代に



加賀野菜とは



加賀野菜イメージキャラクター  
ヘジタン

城下町金沢には、藩政時代から受け継がれた季節感に富んだ特産野菜、加賀野菜が数多く引き継がれています。その中でも、昭和20年以前から栽培され、現在も主として金沢で栽培されている野菜の中から、現在15品目を「加賀野菜」に認定しています。



# 業務用加工野菜

# 東近江市フードシステム協議会

⇒ 持続可能な農業振興への新戦略 東近江市フードシステム協議会設立

■平成23年10月9日(日) 第16082号

＝市、市内4農協、民間企業などで組織＝

## ◇東近江

東近江市産農産物の生産、販売、消費まで持続可能な農業の新しい活路と流通システムづくりをめざす「東近江市フードシステム協議会」の設立総会が四日、市役所で行われた。

市内四農協、愛の田園振興公社、ヤンマーアグリイノベーション(株)、市の七団体で構成し▽市内産の農産物の安定供給体制の整備および農家の経営安定化▽地域の農家と消費者をつなぐ農家レストランの展開や一次加工品施設の整備に向けてのマーケティング調査、業務用野菜の実証栽培、学校給食への試験導入などを行い、その成果から共同研修農場や共同一次加工施設の設置、営農組合など団体による野菜栽培の拡大に繋げていけるノウハウづくりに取り組む。

設立総会では、三井久雄JAグリーン近江理事長を会長に選んだあと、今年度は、学校給食や民間企業の食堂、病院、福祉施設等にアンケート調査を行い、野菜購入の現状、ニーズ等を把握して市内産農産物の導入試験や業務用野菜の低コスト栽培の実証、経営ができる農家の育成研修プログラムの開発などに取り組むことなどを決めた。



4日市役所で行われた設立総会

# 役割



**農業技術の指導**  
**販路開拓**  
**苗、定植、収穫の支援**  
**出荷調整**  
**土壌改良**

**など**

# 農業指導

実演 ヤンマー農機販売株式会社 中部近畿カンパニーアグリサービス部アグリプロ推進部

専任部長 粥川 朗さん

講師 東近江農業農村振興事務所 松田 眞一郎さん

平成26年7月15日（火）に農事組合法人統合堂営農組合さんの圃場をお借りし、排水対策と土づくり研修を行いました。

ヤンマーさんからお持ちいただいた成形機や移植機等を用いた実演を行い、参加者の皆様に改めて機械利用の効率化の重要性について再認識していただきました。

苗に関しては、2014年6月27日（水）に行いました**苗づくり研修**で底面給水技術を利用して栽培した苗を利用しました。また、モミサブローという農機を用いた排水対策や統合堂営農組合長澤田さんからお借りした圃場の給水システムについても講義していただきました。

大変暑い中での研修となりましたが、無事に研修を終えることができました。

また、ブログ東近江の農でも紹介していますので、そちらも参照なさってください。

・東近江の農 [排水対策・土づくり現地研修を実施しました！](#)



# 農業指導

平成26年1月31日（金）に第3回目のニンジンの研修会を実施しました。今回は機械化体系の推進を目的に生産者の小澤清典さん、大谷武史さんとヤンマーアグリジャパンの粥川朗部長の協力の下、ニンジン収穫機の実演を行いました。



# 水田土壤と野菜

# 排水対策

## (1) ほ場の排水性

水田裏作野菜で最も問題となるのはほ場の排水性であり、最初に取り組むべき課題である。現地においても、排水が悪いために作業が遅れたり、湿害を引き起こしてしまったりする例が多い。

多くの野菜は湿害に弱く、水田で栽培するには地表水、地下水などの過剰水を外部に排出する明きよや暗きよが施工されていないと野菜の栽培は困難である。地下水位が高い状態が続くと野菜の根圏が制限され、生育に影響する。安定した収穫を得るためには、基盤整備で暗きよが施工されているほ場であってもできるだけ水はけの良いほ場を選定し、さらに、表面水を迅速に排除する明きよや補助暗きよを施工する。

排水不良ほ場は、降雨後にトラクタ作業が可能となるまでに乾燥する日数を要することから、耕うん作業が遅れる。高土壌水分条件での耕うんは、碎土率が低下していわゆるゴロゴロの土塊になり、定植精度の低下や発芽不良、除草剤の効果低下の原因となる。



湿害により欠株となったキャベツ

# 排水対策



写真4 サブソイラ



写真5 カットドレーン



写真6 モミサブロー

表Ⅱ-3 排水施工用の各種農業機械の仕様と価格

機種用途別	機種名	形式	製造社名	適応馬力 (PS)	希望小売 価格(千円)
耕土改良機 械	溝掘機	オーガー式 ロータリー式	スガノ農機(株) 松山(株) 小橋工業(株) (株)サキコーポレーション	18~60	230.0 ~498.0
	レーザーレベラー	けん引式 直装式	スガノ農機(株)	40~160	169.0 ~509.4
	サブソイラ	1~3本爪 非振動式 振動式	川辺農研産業(株) スガノ農機(株) 東洋農機(株) 松山(株) (株)サキコーポレーション	15~170	123.0 ~692.0
	ハーフソイラ	2~本爪	スガノ農機(株)	40~160	
	ブラソイラ	1~5本爪	スガノ農機(株)	15~120	140.0 ~810.0
	パラソイラー	ナイフ連数 4~6本	松山(株)	100~230	
穿孔暗きよ 施工機	カットドレーン カットソイラー		(株)北海コーキ	60~120	
もみ殻埋設 機	モミサブロー		スガノ農機(株)	30~60	510.0

# 機能性野菜

## 通常の野菜より栄養価の高い「機能性野菜」 .....高齢者が注目



長寿大国、日本。タキイ種苗は、健康的な生活を求める高齢者の食事に関する調査結果を発表した。

同調査によれば、60代以上の高齢者の6割以上が、野菜の栄養効果として「健康的な体」を期待しているという。しかし、高齢者は一般的に年々食欲や咀嚼力が落ちると言われており、少ない食事の中でも効率よく栄養を摂取できる「機能性野菜」への関心が高まっているという。

通常の野菜より栄養価の高い機能性野菜を自分の食生活に摂り入れたいと思っている（思う+どちらかと言えば思う）60代以上は、2013年の調査では70.1%だったのに対し、2014年では73.8%と増加している。また、機能性野菜に期待している成分として、ほかの年代では「リコピン」が人気

商品(品種)紹介  
各商品の成分  
をご紹介します。

京くれない 千果・CF千果 フルティカ <b>リコピン</b>	オレンジクイン 桃太郎ヨーグルト クックヨーグルト <b>シス リコピン</b>	芥天丸 <b>ルテイン</b>
紅法師 コーラルリーフフレーム コーラルリーフフェザー <b>アント シアニン</b>	オレンジ千果 こどもピーマン(ピー太郎) オレンジ <b>カロテン</b>	ケルたま <b>ケルセチン</b>

だったが、60代以上では「カロテン」に注目していることがわかった。

なお、同社が展開する機能性野菜は、カロテンが従来品種の約2倍含まれるピーマン「こどもピーマン」、リコピンが一般的なトマトの約2倍含まれるニンジン「京くれない」など13品種。公式ホームページではそれらの野菜を使った料理のレシピなどが紹介されている。

# 企業連携

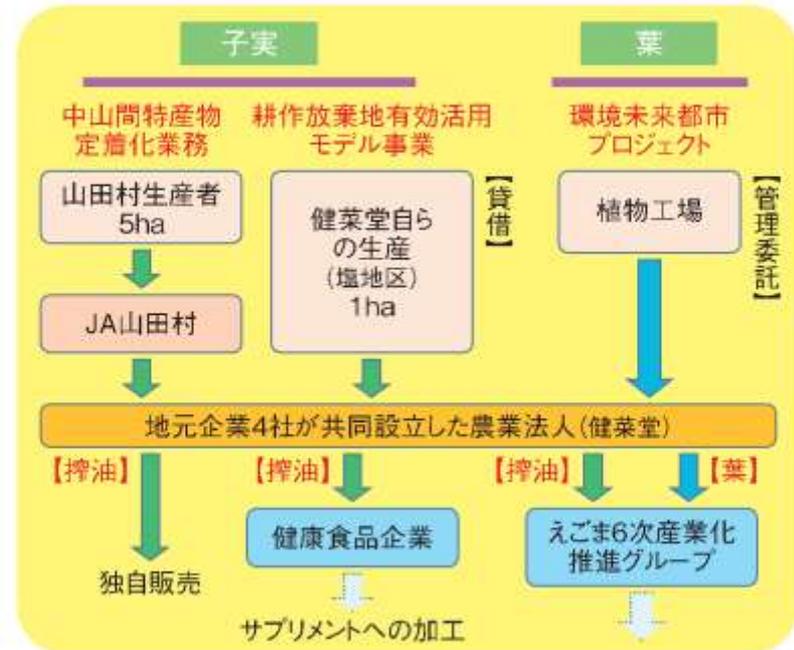
# 富山市 エコゴマ

第1表 富山市のエゴマの6次産業化のこれまでの取組経緯

	内容
12年5月 8月	「富山市環境未来都市計画」策定 「牛岳温泉熱等を活用した農業の6次産業化」プロジェクトチーム設立
13年4月 4月～ 4月～ 7月	計画の中心となる「株健菜堂」設立 耕作放棄地等有効活用モデル事業実施計画調査開始 JA山田村を中心に「中山間特産物定着化業務」によって露地での試験栽培開始(～現在まで継続) 「えごま6次産業化推進グループ」設立
14年3月 4月～ 5月	旧山田村に植物工場竣工 植物工場での本格栽培を開始 内閣官房「地域活性化モデルケース」に選定
15年1月 3月 5月 6月 9月	「地域再生計画」の内閣総理大臣からの認定 健康サプリメント製造施設整備に対する助成 耕作放棄地の買入れ(20ha)、簡易整備の実施 リース用農業機械の購入 農地整備基本計画策定業務発注
16年1月～	エゴマ油を利用したソフトカプセル製造の開始(予定)

資料 富山市からの提供資料および公表資料

第1図 富山市の6次産業化の流れ



資料 富山市「エゴマの6次産業化と今後の展開」

(注) 健菜堂のエゴマ油の販売先としては、図中のほかに山田村特産加工組合がある。



# 酒蔵×リカーショップ×米農家×地域住民等 甲賀のんべえ倶楽部



酒好きの、酒好きによる、酒好きのための会。滋賀県甲賀市は県内有数の酒処で、稲作も盛んなところ。1から酒造りをできる、呑兵衛の夢をかなえる体験を楽しめる。5月の苗代作りから田植え、草刈り、稲刈りなどで酒米を栽培。その後、蔵での工場研修会や酒造りの行程の体験なども月末～4月には新酒蔵出しとなる。他にも日本酒を味わう会などのイベントを開催している



# 野菜B級品の加工

# 介護食

## あいとうふくしモール ほんなら堂

暑い夏には見た目も口当たりも涼しく



野菜パウダーに含まれる栄養素



出典 xn--u9j580gdhai60czyrnkmm.net

人参3本分=野菜パウダー人参40g  
ほうれん草200g分=野菜パウダーほうれん草13g  
小松菜200g分=野菜パウダー16g  
かぼちゃ160g分=野菜パウダー40g

出典 【栄養満天】野菜パウダー、あさちゃんで紹介された魔法の粉！通販サイトや情報も！ | ほえっとTV

野菜パウダーが人気らしい



出典 malatyahavayollari.net



高齢者の介護食として  
介護食や食事療法に

出典 www.recycle-toner.com

# 野菜の生ドレッシング



支援者

買い支え

# CSA (Community Supported Agriculture )



# 多賀町内における米、野菜の消費量

多賀町人口：7,355人

米1人当たり年間消費量：54.6kg/人

町内米年間消費量：401 t /年

(米収穫量の28%)

野菜1人当たり年間消費量：92kg/人

町内野菜年間消費量：676 t /年

町内野菜年間消費額：1億5,480万円/年

# 多様な農業の担い手

# 愛工口梨俱樂部



# 援農隊 がもう夢工房協議会

## 取組1：非農家定年退職者による援農隊の試行（キャベツの生産支援×定年退職者の生きがい）

キャベツ生産農家の人手不足と非農家定年退職者の農による働きたいのマッチングのしくみづくりとして、8月に蒲生地区金戸に新聞折り込みチラシで援農隊を募集して、1)8月31日はキャベツの定植作業、2)10月26日はキャベツ畑の草刈、3)12月14日はキャベツの収穫の体験を実施しました。



## 取組2：就業準備中の若者による援農隊の試行（草刈支援×中間的就労）

草刈の人手不足と引きこもりや障がいを持つ就業準備中の若者もの中間的就労のマッチングのしくみづくりとして、アグリ蒲生が生産する農地約6haの草刈を東近江圏域働き・暮らし応援センターと連携して、就業準備中の若者ものが8月20日～27日にかけて草刈を実施しました。中間的就労とは、一般的な職業に就く「一般就労」をたたちに目指すのが困難な人が、本格的な就労に向けた準備段階として、公的支援を受けながら、日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会のことです。



# 企業ファーム

## 事例紹介

### MFJ 熱血開墾 ファーム

実施年度 2015年～  
株式会社マーケティングフォースジャパン  
(日本エイリオグループ)



開墾

## 事例紹介

### 金精軒の畑

実施年度 2011年～  
金精軒製菓株式会社



大豆の収穫

明治三十五年創業の老舗和菓子店金精軒は2012年から産元の在来品種「青大豆」の栽培を始めました。社員皆さんで種蒔き、草取り、収穫をおこない、収穫した「青大豆」を利用して自社の商品開発につなげています。産地地消にこだわり慈恵の魅力ある農産を見直し、菓子を通じて地域に還元する素晴らしい取り組みです。

## 事例紹介

### ソキュアス ファーム

実施年度 2012年～  
株式会社ソキュアス



作業中

IT企業ソキュアスが実践する「ソキュアスファーム」では、社員のみなさんが自ら農作物を栽培しています。収穫した農作物は社内で分けあひ、この安心・安全な農作物を自分たちで育て自分たちで食べる「自産自消」を実践しています。

## 事例紹介

### クリスタル ファーム

実施年度 2012年～  
クリスタルオーシャンホテルズエー  
株式会社



クリスタルパワー

クリスタルを売ったヒーリングカフェを運営するクリスタルアカデミーでは、社員と市民のみなさんを中心に、田植えから稲刈りまで参加しながらお米づくりを行っています。古来水田の生産地でもあり、パワースポットとして有名なみずがき山の麓で、クリスタルの力も借りながら、心と体に優しいお米作りを推進しています。

# 週末農業塾

自然に沿った生き方に出会える小さな農学校



Small Farmers College (スモールファーマーズカレッジ/略称SFC) とは、農あるライフスタイルを目指す社会人のための週末だけの農学校です。

将来、新規就農、半農半X、田舎暮らしといった農あるライフスタイルを目指している人が、週末だけで本格的な野菜栽培の知識・技術をゼロから体系だてて学ぶことができます。

20代から70代まで老若男女問わず初心者からプロ農家の方まで、そして大阪、京都、滋賀、奈良はもちろん、兵庫、和歌山、三重、愛知、東京など遠方からも多くの方が通われています。

觀光

# 学ぶ、安らぐ、食べる ひがしおうみハンドシェイク協議会 →愛のまち星つむぎ協議会

○市内の環境系NPOとまちづくり協議会、財団、市で組織  
それぞれの活動をつなぎ、東近江のあるものを活かす

## 事業計画3つの柱

### ■学ぶ(体験)プロジェクト

- エコ体験プログラムの整理・開発
- 受け入れのための研修
- コーディネートのおもしろづくり

### ■安らぐ(宿泊)プロジェクト

- 空き家・人材発掘
- 東近江もてなし講座
- 農家民宿の開業支援

### ■食べる(地元食)プロジェクト

- 東近江食の発掘・再評価
- 東近江レシピづくり
- 東近江じまん家庭料理大集合の開催
- 農家レストランの開業研修
- 一日限りの農家レストラン(模擬農家レストラン)の実施

# 学ぶ

『いただきます』を土から学ぶ!

# 田舎もく体験

参加者募集 2016



ここは出羽県東庄市。  
斜陽の山々を望みながら、  
農業体験してみませんか?

NPO法人愛のまちエコ倶楽部



# 安らぐ (宿泊)

(教育旅行)

(視察研修民泊)

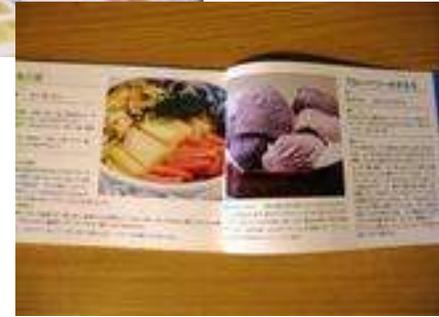


# 食べる

- ▽東近江じまん家庭料理大集合の開催
- ▽東近江レシピづくり
- ▽東近江じまん家庭料理大集合の開催
- ▽農家レストランの開業研修
- ▽今日だけの東近江食堂（模擬農家レストラン）



野菜花に開業（平成25年4月）



ありがとうございました

株式会社 農楽

<http://www.nou-gaku.com/>

